

普及活動情勢報告（令和4年10月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

環境負荷の軽減でSDGsへ ～脱プラスチック被覆肥料試験～



成熟期調査での様子

10月11日、普及所は土佐町役場とともに水稻プラスチック被覆肥料代替対策試験ほ場で成熟期調査を行いました。土佐町は令和2年度に高知県で初の「SDGs未来都市」に選定されており、今回の試験は土佐町が計画し、普及所は、試験に用いる肥料の選定等の調査計画策定と実証について支援しています。

試験は土佐町内の3ほ場において、元肥のみの施肥体系で、硫黄コーティング肥料を供試し、慣行のプラスチック被覆肥料と比較するもので、今回の成熟期の稈長、穂長、穂数の調査で現地調査を完了しました。

普及所は今後も土佐町と連携して試験を続け、環境負荷低減に向けた栽培技術に関係機関とともに検討していきます。

新しい整枝方法に興味津々！～甘長とうがらし先進地視察～



仕立て方を学ぶ部会員

10月17日、JA高知県れいほく園芸部土佐甘とう部会は、梶原町上本村で視察研修を行い、部会員4名、JA2名、普及所2名が参加しました。今回の研修は、甘長とうがらし先進地の津野山地域での、栽培後期における管理技術を学んでもらうことを目的に、普及所がJAと連携して計画し、実施しました。

視察先のほ場はきれいに管理され、嶺北地域では見られない「つる下ろし誘引」が行われていました。生産者からは新しい整枝方法に「中がすっきりしているから収穫もしやすそう」との声が聞かれるなど活発な意見交換が行われました。

普及所は今後もJAと連携をとりながら、甘長とうがらしの生産性向上に向けて支援していきます。

調理体験を通して地元食材を知ろう！！

～本山小学校で地元食材を使った調理実習会を開催～



地元の農産物を学ぶ児童たち

10月18日、19日、本山町生活改善グループが本山小学校で2年生、3年生を対象に、地元食材を使った調理実習会を開催しました。

この取組は嶺北地域の関係機関で構成される「嶺北地域農林業振興連絡協議会」が地元食材のPRの一環として開催しており、普及所は関係機関と連携して企画立案し、当日の運営を支援しました。

会では、三色ピーマン、米なす、しいたけ、ヤーコン、米といった地元食材を使い、合計5品を調理しました。

参加した児童からは「家でも作ってみたい」、「自分で作ったからおいしい」といった声があり、地元食材に興味が高まった様子でした。

普及所は、今後も地域の農業への理解と関心の向上に向けてPR活動を支援していきます。

高品質なユズ出荷に向けて ～青果ユズ目慣らし会～



厳しい目で選別

10月20日、大豊町のJA高知県大田口支所で園芸部柚子部会の目慣らし会が開催され、生産者10人が参加しました。

普及所とJAから、今年度の生育概況や肥料高騰対策について情報提供した後、部会員が持ち込んだ果実を用いて出荷規格の目慣らしをしました。参加者全員で規格表を見ながら果実を選別し、選別基準を共有するとともに、効率的な選別方法・手順の情報交換や、今後の集荷スケジュールを確認しました。

コンパクト高精度カメラ式選果機をメーカーが実演したことで、参加者同士で今後の省力化についても活発に議論がなされ、有意義な検討会となりました。

今後も普及所は、部会全体の相互研鑽に向け、関係機関と協力しながら検討会等を実施していきます。